

令和 2 年 2 月 1 1 日
在ザンビア日本国大使館

安全情報：有毒ガス被害に関する注意喚起

- 2月9日深夜，ルサカ市内の民家に有毒ガスが散布される事象が発生しました。
- 同様の有毒ガス被害は，1月にコッパーベルト州で発生して以来，北西部州地域に拡大しており，今回首都ルサカでも発生しました。
- 被害が起きている地域及びその近隣にお住まいの方は，不要な外出を避け，特に就寝時の窓，扉等の施錠確認を徹底するようご注意ください。
- 被害の報告等，緊急時は下記連絡先までご連絡下さい。

【問合わせ先】

在ザンビア日本国大使館 領事警備班

+260-977-77-1205

+260-977-77-1206

【参考：関連報道】

- 1 2月9日深夜，ルサカ市内のジョージタウン（George Township）の民家に有毒ガスが散布され，1世帯9名が病院に搬送された。
- 2 被害者（女性2名，子供7名）によると，深夜2時頃，咳が始まり呼吸が困難になった。
- 3 ルサカ州警察によると，ルサカではジョージタウン及びその近隣地（Lusaka West, Middle West and Kasupe Townships）において，5世帯の家族が被害に遭っている。目下，警察が捜査中であり，現在のところ重傷の被害者はいない。
- 4 同様の有毒ガス被害は，1月初旬にコッパーベルト州で発生して以来，北西部州地域及び首都ルサカで発生している。過去の被害発生状況は次のとおり。
 - 1月27日，コッパーベルト州 Chingola 及び Kalulushi の民家において138名の住民が被害
 - 1月30日，北西部州 Kalumbila の9世帯の民家において32名の住民が被害
 - 2月6日，コッパーベルト州 Lufwanyama の学校において17名の生徒が被害
 - 2月8日，北西部州 Meheba の学校において28名の生徒が被害